

第62回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会に参加して

開催日 平成30年9月1～2日
場所 ホテル青森

帯広市つくし会

甲谷 千春

7月に帯広で北海道大会を経験したばかりでしたので、色々なところに目が行きました。開会式は50分でしたが、長く感じることもなく主催者挨拶は暖かみのあるそして力強さも感じるものでした。青森市長さんは用務を終わらせてからの出席ということで遅れての到着でしたが、これも駆けつけてくれたと、暖かいものを感じました。その後の研修討議はいずれの発表も大変質の高いものだったと思います。特に岩手県の多田静子さんの「団体運営について」は同じ思いを持ちました。子どもに



北海道 甲谷 千春
研修討議パネラーとして

生きる力を備えてほしいと私たちがつくし会でも、何か形になることをしたいと思案しているところであります。札幌市の宮澤綾さんの発表も母子家庭として、身につまされました。そんな中一番感心したのは主催者の皆さんの元気の良さです。交流会でのアトラクション『八幡馬』は掛け声も大きく皆が一つになつて盛り上げる様子は感動ものでした。翌日の講演斉藤千恵子さんの「あなたらしくわたしらしく」も大変良かったです。それだけに北海道からもっと若い母子の会員の方が多く参加できたら、どれだけの力と勇気をもたらう機会となったかと思うと、今後考えなければならぬ課題かと思えました。



盛り上がる交流会アトラクション

平成30年度全国母子寡婦福祉研修大会に参加して

開催日 平成30年10月27～28日
場所 岡山ブラザホテル

江別市母子会

小高 久子

今年の全国大会は、7月の西日本豪雨で甚大な被害に遭われた岡山県で800名の参加者で開催され、岡山県知事より、全国からの沢山のお見舞いとボランティア活動に対してのお礼の言葉がありました。厚労省からは児童扶養手当制度の改正、ひとり親家庭への支援等について説明がありました。子どもの教育や安定就労をテーマにしたシンポジウムが全国6地区の代表と岡山県立大学近藤理恵教授の進行で討議されました。

2日目のオープニングは認定こども園白ゆりの園児46名による和太鼓の演奏でした。「桃太郎」をは



講師の竹内昌彦氏

じめ3曲を一生懸命演奏して、とても可愛かったです。講演は岡山ライトハウス理事長の竹内昌彦氏が、全盲のためいじめられましたが負けなかつたこと、素晴らしい先生に巡り会えて盲学校の教師になったこと、定年退職後モンゴルに盲学校を設立したことなど話されました。「我慢するから辛くなる。一人で考えないで沢山の人に知ってもらおう。悲しみの後に幸せが来る。」など見えないから見えなかったことが沢山あるのだと思えました。ひとり親だからと一人で全部背負うことなく、母子会を活用して助け合っていきたいと思う大会でした。



認定こども園白ゆりの園児46名の和太鼓



シンポジウム